



KUFS TOKYO NEWSLETTER

2009年9月18日

京都外国語大学校友会東京支部

VOL.17

トピックス

- ごあいさつ
- 東京支部からのご報告
- ・東京支部活動報告
- ・第1回ゴルフコンペ報告
- 外大生・横顔シリーズ
- 海外便り
- ・「カリフォルニアの風」
- ・「フランス編」
- 校友会メンバー紹介
- PRコーナー

東京支部ランチセッション

卒業生の集い、反省会及び
今後の活動について

* 東京支部 NEWSLETTER 第17弾 *

鈴虫の声は、昔から人々に愛されてきました。鈴虫の鳴き方は、飼育されているものと野生のものとは、違って聞こえるのだとか。飼育されている環境では、「リーリーン」と鳴くのに対し、野生の場合は、「リー、リー」と断続的で単調な鳴き方をするそうです。自然の豊かな場所で耳を澄ませば、聞き慣れた鳴き方とは異なる鈴虫の声を聞けるかも☆☆



この東京支部 NEWSLETTER も今回で**17回目**です！
KUFS 現役生と卒業生の架け橋になることを目標に、情報交換のコミュニケーションスペースとして、ますますの充実を図ってゆきたいと思えます。まだ **NEWSLETTER** を受け取られていらっしゃらない方をご紹介させていただきますよう、ご協力をお願いいたします。

連絡・投稿先は >>> tonegawa@gm-group2.net

東京支部からのご報告



東京支部活動報告 東京支部 ランチセッションを開催

8月29日(土)
午後1時から4時まで、銀座のがんこ1丁目店にて、東京支部ランチセッションが開催されました。

7月4日の第21回関東地区卒業生の集いを踏まえた反省会と今後の活動の打ち合せが主なテーマでした。今回、新たに4名の若い卒業生が協力委員として加わってくれました。平成8年度卒の福嶋 聡文君、平成18年度卒の五味晶子さん、平成19年度卒の岡本美里さん、佐藤恵一君の計4名です。

早速、当ニュースレターの人気コーナー「外大生横顔シリーズ」で五味さんがトップバッターとして紹介されています。順番に紹介していきたいと思えます。

第1回京外大東京支部OB回ゴルフコンペを開催

9月12日(土)に千葉県芝山ゴルフクラブで、東京支部設立以来、初めてのゴルフコンペが開催されました。42年卒の天野治氏が幹事で11名が参加、3組に分かれダブルペリア方式にてゲームはスタートしました。当日は、あいにくの雨模様ではありましたが、最後まで笑い声の耐えない中での楽しいゴルフコンペでした。校友会からも景品の提供をいただきました。優勝は中林勝之氏、準優勝は藤原拓氏でした。OBだけでなく、OGによるゴルフコンペ開催の声も出ていました。



外大生・横顔シリーズ

外大生横顔シリーズ

平成19年度ブラジル・ポルトガ

ル語学科卒業

五味晶子さん



平成19年度

ブラジル・ポルトガル語学科卒業の
五味晶子さんをご紹介します。

ポルトガル語学科出身の人はブラジルオタクが多いですが、私もその一人で、在学中にカポエイラというブラジルの格闘技をやっていました。

カポエイラ?という格闘技

カポエイラって何?と思った方は、下記ページから動画をご覧ください。

<http://www.youtube.com/watch?v=bSy5cpLU-zM>

就職で東京に来て3年目となりました。

現在は生命保険会社にて営業をしています。

生命保険会社での営業職

生命保険は日本国民の84%が加入していますが、保険が好きで、保険に入りたくて加入されている方は通常いらっしゃいません。

生命保険の意義をお伝えしなが

ら、自分自身の成長を!

やはり万が一何かあった時に助けになるのは保険金や給付金であり、自分や家族は自分で守る、という意識があるため加入するものであり、家計の中でも特殊な支出であるかと思えます。

人生のコンサルティングの仕事で

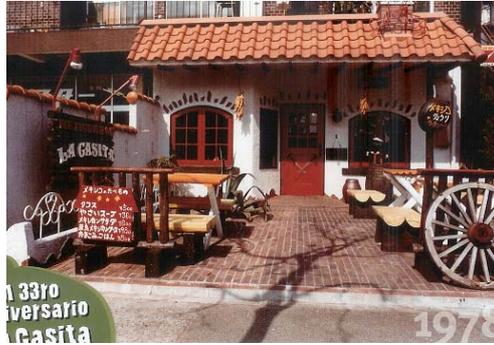
人生の厳しさが見えてくる。

保険は家や車に継ぐ大きな出費であることや、商品の分かりにくさ、営業員のしつこさ(私は違いますが笑)、競合の存在などの様々な要因で、販売するのはとても骨の折れる仕事ですが、その分営業力が磨かれ、自分自身が大きく成長していける仕事です。

ところで、他人の人生のコンサルティングする仕事をしていると、本当に現代に生きる厳しさが見えてきます。

日本の財政赤字や少子高齢化、経済危機と雇用の減少、教育問題など、社会問題が山積みの現状に非常に危惧を持たざるを得ません。
現在ファイナンシャルプランナーの資格取得に向け勉強していますが、今後ぜひこういった社会問題についてもより深く突っ込んで勉強していこうと思っています。

外大生・横顔シリーズ



メキシコ料理レストラン
La Casita オーナーシェフ
昭和 46年 イスパニア語学科中退
渡辺庸生さん
(昭和 23 年 10 月 7 日神戸生れ)
連載 9 回目です。

～開店当時の手作りレストラン～

俄かには信じる事は出来なかった。突然の電話の第一声は「こちら料理の鉄人の番組の者ですが…」というものだった。後日、訪ねて来られたディレクターは「是非、挑戦者としてメキシコ料理を披露して頂きたい。」と持ちかけてきたのである。正直、困惑していた。現在の場所に移転して 10 年余、「チューボーですよ」をはじめ、「どっちの料理ショー」、「愛の貧乏脱出大作戦」等、数々の料理番組のロケを経験させて頂いたが、この番組だけは、まさか？という思いだった。選りすぐりの料理人達が限られた時間の中で真剣勝負を戦う、最高峰の大舞台。料理界の横綱(鉄人)に果たして自分が挑めるのか？緊張と不安が身体を取り巻いていた。それぞれの立場上、断る方もいるらしいが、出演を決意させたのはメキシコ料理普及への使命感であった。勝ち負けにこだわるよりも、辛口揃いの審査員たちに「メキシコ料理は美味しい！」とコメントしてもらえれば、全国ネットで知られるチャンスである。当時はイタリア料理の大ブームの最中、和食や中華の鉄人達よりも、イタリアンの鉄人と戦わせてもらえるなら…とお願いしたら、OK が出た。迎えた収録の朝、局に向う車の中で「普段どおりやればいい…」と何度も自分に言い聞かせていた。

持参しているのは包丁とコック服だけ。キッチンスタジオにある食材を使って全て最初から手作りでスタートするルールはこれまでに体験した事の無い過酷な条件であった。服部調理師学校の師範 2 人を助手に紹介された後、リハーサルも無くすぐに収録は始まった。カメラが回り始めたらどんなアクシデントがあっても 1 時間のタイムリミットの中でやり遂げなければいけない。まるでリングに上げられた格闘家の心境であった。与えられた題材は「マンゴー」、難しいとは感じたがやるしかない。初めての場所ではあるが自分の厨房だと思い込むことで落ち着きを取り戻していた。指示を徹底しても慣れない助手達に 2～3 件失敗はあったが、終了 1 分前に何とか 6 品出来上がった。ミスを誘うのも製作側の狙い通りだったのだろう。評価数は味が 10 点、創作性が 5 点、盛り付けが 5 点である。相手はイタリアンの鉄人、後者 2 つは 1 点ずつおいつかなくても味の評価は同等に戦いたい。そんな思いで審査の結果を待った。岸朝子先生、加納典明さんら 5 人の点数は 18 点、身体の中に安堵感が満ち溢れたが、鉄人は何と 20 点満点を獲得したのである。後に鉄人(神戸勝彦氏)から「最高の戦いだった。」と連絡

メキシコ料理レストラン

La Casita オーナーシェフ

渡辺庸生さん

「料理の鉄人」への出演依頼

まさか？という思い

出演の決意はメキシコ料理普及

への使命感

持参しているのは包丁とコック服

リハーサルなしの 1 時間

食材はマンゴー

「最高の戦いだった」という

鉄人からの連絡を頂く

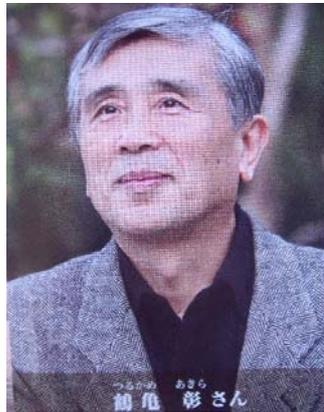
を頂いた。



渡辺さんの著書が
京都外国語大学の図書館の
蔵書に加わりました。

次回へ続く～TO BE CONTINUED～お楽しみに！

海外便り「カリフォルニアの風」



カリフォルニア在住の
昭和38年英米語学科卒業の鶴亀彰さん
からのお便りです。

「アメリカの教育あれこれ」

見ると聞くでは大違いと言われますが、私はアメリカに住むようになってそれを実感することが多かったです。教育の制度もその驚きの一つでした。日本の6・3・3制の教育は戦後占領軍統治の下、アメリカ式の制度を取り

入れたものと聞いていたので、当然アメリカでもそれが一般的なのだろうと思っていました。ところが大違いでした。

アメリカでは6・3・3制は少なく、6・2・4制や5・3・4制がはるかに多いのです。教育は各州の自治、更には郡や市にある学校区の判断に任されているので、実に多種多様です。義務教育はK12と言われ、幼稚園の年長組から高校の12年生までです。就学の年齢も地域により、5歳から16歳もあれば、6歳から17歳、7歳から18歳と様々です。

50州のうち、16歳卒業が30州、17歳卒業が9州、18歳卒業が11州と言った様子です。日本では小学6年生、中学3年生、高校3年生と言えば、その年齢も判明しますが、こちらでは日本式に当てはめようとする混乱します。日本の小学6年生がこちらでは中学1年生である場合もあります。そのため、Elementary, Secondary(Junior High), Senior High Schoolと学校の呼称はありますが、通常生徒を呼ぶ時は1年生から12年生まで通して呼ぶのが普通です。

私は現在7年生ですとか、12年生ですという言い方が一般的です。あまり小学生、中学生、高校生とは言わないようです。授業の内容や使用する教科書も教える先生の判断に任されている部分もかなりあります。また学期もセメスターと呼ばれる二学期制やトライセメスターと呼ばれる三学期制と校区によって違い、一般的には始業は9月ですが、それも一定ではありません

昭和38年度英米語学科卒業

鶴亀彰さん

アメリカの教育について

日本の6・3・3制はアメリカ式

ではなかった……

アメリカは

6・2・4制、5・3・4制

通常生徒を呼ぶときは

1年生から12年生

小学生、中学生、高校生とは

一般的に言わない

せん。留年や飛び級もざらです。

通常の公立や私立の学校以外にホームスクーリングという親が責任を持って一定のカリキュラムを自分の子供に教えて卒業資格を得る制度やオルタナティブ教育と呼ばれる子供の現状(身体障害や特別に優れた頭脳を持つ子供達など)に合わせたシステムもあります。要は教育を教える側に立ち、画一性の弊害はあっても、統一的に行うのか、または子供の側に立ち、複雑さ・面倒さの手間は掛かっても、一人一人の子供の個性になるべく合わせるようにするのかの違いのようです。

『アメリカの小学校』



海外便り「フランス編」



夢の実現のためにフランスで
がんばっていらっしゃいます
平成 12 年度フランス語学科卒業
の寺尾恵さんからのお便りです。

フランス流??ニキビの治療法

一週間くらい前には汗ばむような暑い日もあったような気がしますが、どうも 2、3 日前から急に秋らしくなり、朝晩には寒いと思うほどの温度になりました。しかも今日、昨日と 1 時間ほど雨が降ったり、冬を連想される天気模様です。というわけで、そろそろ冬支度をしなければ…と考え中です。

さて話は変わりますが、ニキビに悩む友人が一人いまして、彼から相談を受けました。私の周りのフランス人にとって、日本人は…①マッサージができる ②zen(禅)だ。=イライラしたりしない ③(当たり前のことかもしれないけど、)自分たちとは違う方法を知っている…と言うことらしいので何とか東洋の健康に対するコツでも聞きたかったのでしょうか。

一般的にニキビができたなら皆さんどうしているのでしょうか。体質からニキビのできにくい私はあまり詳しくはないのですが、刺激を与えない為に触らないこと、洗顔で清潔に保ち保湿をすること。バランスのよい食生活を心がけ、それでも駄目ならお医者さんに相談。かな、と思っています。

ではフランス人はどうするのか…

レモン、トマトをすり込む
歯磨き粉をつけて乾かす

もう一つの驚き
フランス人はジーンズにも
アイロンがけをする！

京都外大校友会メンバー
昭和41年度スペイン語学科
卒業
校友会副会長 木下輝明さん

イスパニア語学科第一期生
43年前のこと
校友会ボランティア活動に参加し
て20年
無理をせず自分のできる範囲で
最後はやはり
World Peace
Through Languages

- ①・レモンをすり込む(トマトも効果的)
- ②・歯磨き粉をつけてそのまま乾かす。
…なんとも意表をつく答え。効果のほどは定かではないけれど、所変われば変わるもんですね…

こんな具合に彼らには彼らなりの考えがあるんですね。これには驚きましたが、もう一つ驚いたことが…

以前に家事の手伝いを頼まれた際にバスケットにてんこ盛りの洗濯物を渡され、アイロンをかけるようお願いされたのですが中になんとジーンズが…間違いかと思っていたのだけどどうもこちらの方、Tシャツにもポロシャツにも念入りにアイロンをかける、どんなに高価なものでもしわのよってTシャツはダサイと非難の対象になるのです。…なるほどねえ、きつこう言う所にもフランス人の美意識のおきどころがあるのでしょうかね～お金をかけずに手間をかけるといいでしょうか…なるほど、なるほど。

*** ガンバレ、外大卒業生！ ***

京都外大校友会メンバー紹介



今回の京都外大校友会の
メンバーは

昭和41年度 スペイン語学科卒業
校友会副会長 木下 輝明さんです。

東京支部、校友会会員の皆様。毎年の支部総会・懇親会の開催、ご苦労様です。

まさに、継続は力なりですね。今後、関東地域の卒業生のかなめとなり、友情の輪がさらに、強固なものになっていくことと思います。同じ大学で学んだということで、すぐに打ち解けて、話し合えることは素晴らしいことですし、お互いが切磋琢磨して成長していくことが、大切だと考えます。

私は、京滋支部所属で 織田信長の安土城跡地、ラムサール湿地条約登録の西の湖など、歴史・文化、水と緑の豊かな自然の残る安土町に住んでいます。大学は1966年3月卒業、イスパニア語学科の第一期生で、もう43年前になります。

近畿在住の卒業生として、校友会ボランティア活動に参加して、もう20年ぐらいいなるといいます。校友会の役員として国内の支部設立総会には、ほとんど参加させていただきました。無理をせず、自分のできる範囲で協力する。これが私のモットーです。

最近、卒業生の販売している商品をネットショップで販売したり、東京商工会議所のeco検定受験など、脳の活性化に努めています。人間いくつになってもわからないことばかりで、生涯学習を、自分に言い聞かせています。eco people の中からですが、健康に気を配り、毎日の生活を丁寧に暮らす。環境を守り、自然から学ぶ、それぞれの人や組織を認め、連携し協働する。自然への思いやり、他人への思いやり、自分への思いやりで地域社会への奉仕活動を！ 秩序のある自由競争促進を！

最後はやはり、World Peace Through Languages ですね。
皆さんにお会いできる日を楽しみにしています。

何でもかんでも PR コーナー

山田有桂 ジャズコンサート

～昭和歌謡を歌う～

平成のオーケストラジャズの新提案!!

THE BIGBANG ORCHESTRA PRESENTS

オーケストラで巡るジャズと昭和歌謡 第1弾

出演 有桂(Vo) 佐藤マサノリ(Vo) うめ吉(三味線/Vo)

山田壮晃&ビッグバンオーケストラ

司会 桂 夏丸

トーク 瀬川昌久(ジャズ評論家) 岩浪洋三(ジャズ評論家)

脚本 中山維夫(外大OB)

昼の部 15:00 開場 15:30 開演

夜の部 18:30 開場 19:00 開演

前売り ¥4500 当日 ¥5000

外大関係者は特別価格 ¥4,000

文京シビックホール小ホール

03-5803-1100

詳しくは、<http://www.bigbang-music.com>

*** 活動メンバー募集中 ***

====事務局便り====
文部科学省から平成21年度文部科学省「学生支援推進事業」学生支援プログラムが採択され、サテライトオフィスが新大手町ビルに設置の運びとなりました。このニュースレターでも、お手伝いをさせていただきたいと考えております。

今後も現役学生と卒業生、また卒業生同士をつなぐ媒体となるよう、できるだけ多くの卒業生の横顔を引き続きご紹介していきたいと思っております。

皆様の更なるご協力をよろしくお願いいたします。

皆様の周りで活躍している卒業生、自薦・他薦を問いませんので、

当事務局宛お知らせいただければ幸いです。

連絡先は >>> tonegawa@gm-group2.net

====

事務局

103-0024

東京都中央区日本橋小舟町

2-9 カーサ日本橋ビル 7 階

(株)グローバルメディア内

電話

03-5623-6550

FAX

03-5501-9031

電子メール

tonegawa@gm-group2.net

企画・編集: 森田 順子

発行責任者: 本山 裕彦